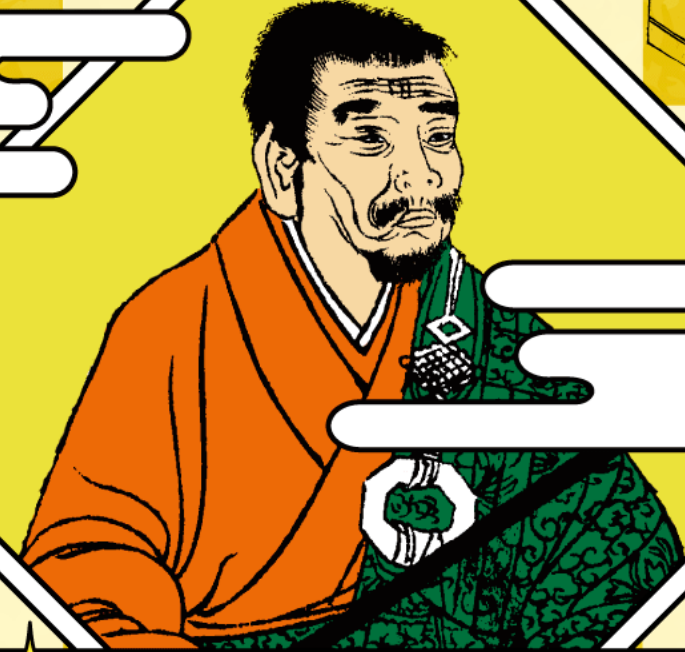




旭堂南海師 上方講談師。大阪大学文学部で国文学を学ぶ。在学中に3代目旭堂南陵師匠に出会い、入門。1998年、大阪市より「咲くやこの花賞」を受賞。20年来「難波戦記」などの続き読みを継続し、その中から「難波戦記」全40巻（2015年CD発売）、「太閤記・木下藤吉郎編」全40巻（2017年CD発売）を完成させ、「祐天吉松」全16話をYouTubeに公開中。現在、なみはや講談協会会員。



一休宗純 室町前期の臨済宗の僧。大徳寺四十七世。京都生。一休は字、宗純は諱。号に狂雲子・国景等。後小松天皇の皇胤説が有力。幼少で出家し、五山（叢林）の学芸を学び、後に林下大徳寺の華叟宗曇についてその法を嗣ぐ。偈頌集に「狂雲集」があり、男女の交情を大胆に表現すると共に、同時代禅林に対する激烈な批判を繰り返す。文明13年（1481）寂。



入場無料

駒澤大学で
講談を聞こう!

2019年6月7日(金)

18:00~19:30 at 駒澤大学中央講堂

【講演】「中世の禅僧、一休宗純」飯塚大展（駒澤大学仏教学部教授）



旭堂南海師
『一休諸国はなし
～地獄問答～』

